（最終版）

日本防菌防黴学会
第 38 回年次大会
プログラム

＜会　期＞
平成23年8月30日（火）～ 31日（水）

＜会　場＞
千里ライフサイエンスセンター

＜大会委員長＞
中島照夫（近畿大学）

日本防菌防黴学会
http://saaaj.jp/

１．大会委員一覧

大会委員長

　中島 照夫（近畿大学）

大会副委員長

松村 吉信（関西大学）	：プログラム編成・ホームページ・会場担当

大会委員

飯田 彰	（近畿大学）	：会場担当
河原 秀久	（関西大学）	：受付担当
熊谷 善敏	（ﾌﾟﾛｸﾀｰ･ｱﾝﾄﾞ･ｷﾞｬﾝﾌﾞﾙ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ(株)）	：シンポジウム・商品展示担当
隈下 祐一	（サラヤ(株)）	：プログラム編成・ホームページ・会場担当
久米田 裕子	（大阪府立公衆衛生研究所）	：シンポジウム・懇親会・会場担当
小林 智紀	（三和インセクティサイド(株)）	：商品展示担当
坂上 吉一	（近畿大学）	：懇親会・シンポジウム・基礎講座・会場担当
白井 昭博	（徳島大学）	：庶務・会場担当
福崎 智司	（岡山県工業技術センター）	：シンポジウム・会場担当
古田 雅一	（大阪府立大学）	：シンポジウム・会場担当
前田 拓也	（兵庫医療大学）	：庶務・会場担当
森 美穂	（近畿大学）	：受付担当
森田 和矢	（サラヤ(株)）	：基礎講座・会場担当

大会プログラムは、

本学会のホームページ（http://saaaj.jp/）からも、ダウンロードできます。

【第 38 回年次大会事務局】

松村　吉信（大会副委員長）

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
関西大学 化学生命工学部
Tel：06-6368-0934
Fax：06-6388-8609
E-mail：ymatsu@kansai-u.ac.jp

前田拓也（庶務担当委員）

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島 1-3-6
兵庫医療大学 薬学部
Tel：078-304-3145
Fax：078-304-2845
E-mail：maedat@huhs.ac.jp

２．目　次

［大会参加上のご注意］

o 必ず当日に参加登録を行い、会場内ではネームプレートを掲示してください。

o 学生の方は、学生証をご持参ください。

o 発表者は事前に会場をご確認の上、発表時間の厳守をお願いします。

o 会場内は、他の参加者のご迷惑になりますので、静粛にお願い致します。

o 録音や写真・ビデオ等の撮影は、必ず事前に発表者の許可を得て行ってください。

o 「クローク」や「貴重品預かり」は設置されていません。また、貴重品等の紛失などの一切の責任は本年次大会では負いかねます。ご自身での管理にご協力ください。

3. プログラム大要

会　期：平成 23 年 8 月 30 日（火）～31 日（水）
会　場：千里ライフサイエンスセンター 5～6F（大阪府豊中市新千里東町 1-4-2）
懇親会：平成 23 年 8 月 30 日（火）17 時 30 分～　千里ルーム（6F）

今年度のポスター掲示は 2 日間となりました。

8 月 30 日（火）	
13:00～16:00	●一般発表（ポスター）……ライフホール ○設置：　13：00 までに設置（すべて） ○質疑：　14：00～15：30（30P 番）
13:00～17:00	●基礎講座……サイエンスホール ◇コーディネーター：森田和矢，米虫節夫 ◇テーマ／微生物との戦いは永遠に続く！ －芝崎勲先生追悼記念講演会－
13:00～15:30	●シンポジウム……千里ルーム ◇コーディネーター：坂上吉一，奥田舜治 ◇テーマ／人工透析分野における微生物制御について考える
13:00～17:00	●商品展示会……601～604
17:30～19:00	●懇親会……千里ルーム
8 月 31 日（水）	
9:00～16:00	●一般発表（ポスター）……ライフホール ○質疑：10：00～11：30（31A 番） 14：00～15：30（31P 番） ○撤去：16：30 までに撤去（すべて）
9:00～12:00	●シンポジウム……サイエンスホール ◇コーディネーター：古田雅一，久米田裕子 ◇テーマ／微生物胞子の正体を知る－より良い制御を目指して－
13:00～16:30	◇コーディネーター：福崎智司，熊谷善敏 ◇テーマ／洗浄技術の効率化に向けた現場レベルでの課題と対策
9:00～16:30	●一般発表（口頭）……千里ルーム
9:00～15:00	●商品展示会……601～604

┃参加費は、当日、「年次大会受付」にてお支払いください。
┃参加費（要旨集を含む）… **会員 10,000 円(学生会員無料)/非会員 12,000 円(学生 3,000 円)**
┃懇親会（自由参加）……… **懇親会費 4,000 円**は、当日「年次大会受付」にてお支払いください。
┃参加申込…………………… **発表者・座長を含め参加者の登録は、当日、年次大会受付で行います。事前の申込みは受付けておりません。**

４．大会日程表

8 月 30 日（火）13:00～19:00

会場	9:00		13:00　15:00	17:00
ﾗｲﾌﾎｰﾙ 5 階	準　備		13:00～16:00 一般発表（ポスター）	
ｻｲｴﾝｽﾎｰﾙ 5 階	準　備		13:00～17:00 基礎講座：「微生物との戦いは永遠につづく！−芝崎勲先生追悼記念講演会−」	
千里ﾙｰﾑ 6 階	準　備		13:00～15:30 シンポジウム：「人工透析分野における微生物制御について考える」	懇親会 （17:30～19:00）
601- 604 6 階	10:00～13:00 準備・商品展示搬入		13:00～17:00 商品展示会	

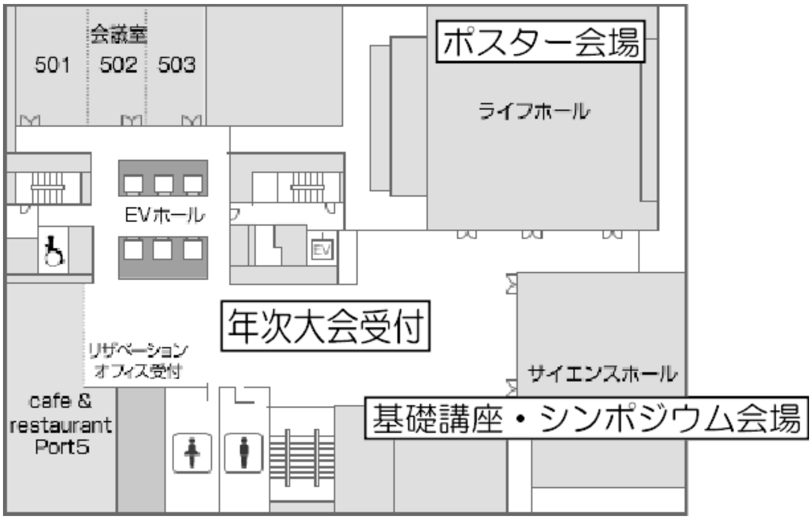
8 月 31 日（水）9:00～16:30

会場	9:00	12:00	13:00　15:00	16:30
ﾗｲﾌﾎｰﾙ 5 階	9:00～12:00 一般発表（ポスター）		13:00～16:00 一般発表（ポスター）	
ｻｲｴﾝｽﾎｰﾙ 5 階	9:00～12:00 シンポジウム：「微生物胞子の正体を知る −より良い制御を目指して−」		13:00～16:30 シンポジウム：「洗浄技術の効率化に向けた現場レベルでの課題と対策」	
千里ﾙｰﾑ 6 階	9:00～12:00 一般発表（口頭）		13:00～16:30 一般発表（口頭）	
601- 604 6 階	9:00～15:00 商品展示会			15:00～16:30 搬　出

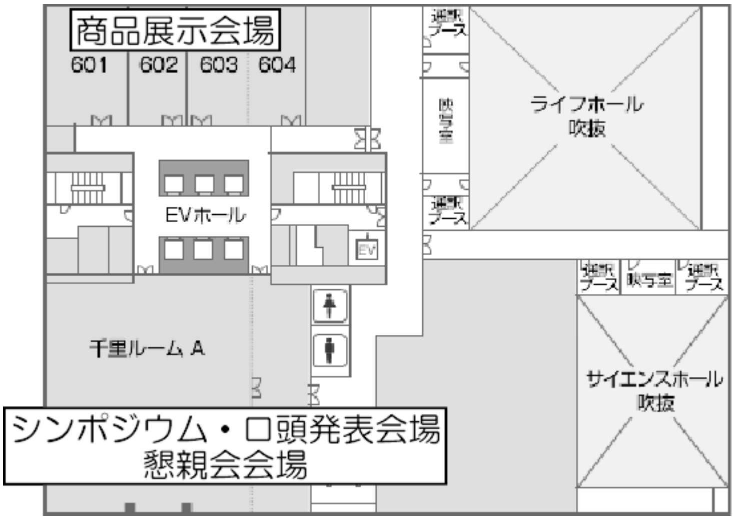
- **一般講演（ポスター）は 2 日間掲示となりました。ご注意ください。**
  ポスター設置：8 月 30 日（火）13:00 までにお願いします。
  ポスター撤去：8 月 31 日（水）16:30 までにお願いします。

5. 会場案内図

5 階



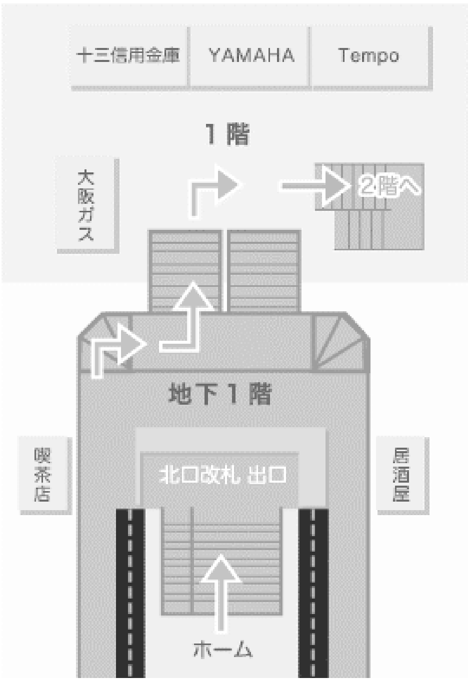
6 階



・ライフホール：ポスター会場
・サイエンスホール：基礎講座・シンポジウム会場
・千里ルーム：シンポジウム・口頭発表・懇親会会場
・会議室 601～604：商品展示会場
・5階　ロビー：年次大会受付・学会事務局受付
・会議室 503：大会本部

６．会場へのアクセス

地下鉄千里中央駅構内



<u>年次大会・懇親会会場（千里ライフサイエンスセンター）</u>

［地下鉄（御堂筋線）をご利用の場合］
　御堂筋線 千里中央行　終点･千里中央下車（北出口すぐ）

［新幹線をご利用の場合］
　新大阪駅より御堂筋線 千里中央行　終点・千里中央下車（北出口すぐ）

［飛行機（大阪国際空港（伊丹空港））をご利用の場合］
　大阪モノレール「大阪空港」駅から門真市行　千里中央下車（徒歩約５分）

［飛行機（関西国際空港をご利用の場合）
(1) JR
新大阪駅から地下鉄千里中央行にお乗り換えください。
(2)南海電気鉄道
難波から地下鉄千里中央行にお乗り換えください。

7. 発表要領

【一般ポスター発表】

○ポスターは、指示されたパネル（横 90cm×縦 210cm）に掲示してください。
（推奨：横 85cm×縦 180cm 以内）

○パネル番号は、ポスター会場受付または本プログラムでご確認ください。
例）講演番号 P10-31P の場合、パネル番号は 10、コアタイムは 8 月 31 日午後となります。

○ポスターは、ポスター見本（次ページ）を参考に作成してください。

○パネル左上にパネル番号（横 15cm×縦 10cm）が掲示されています。

○ポスター掲示は大会で準備した押しピンで留めてください。
（押しピンは十分量用意していますが、不足する場合も予想されます。）

○ポスター発表は、大会会期中（8 月 30 日 13 時～8 月 31 日 16 時）となります。

○演者は、コアタイム中、必ずポスターの前で説明してください。
各コアタイム
講演番号 P●●-30P：8 月 30 日（火）14 時～15 時 30 分
講演番号 P●●-31A：8 月 31 日（水）10 時～11 時 30 分
講演番号 P●●-31P：8 月 31 日（水）14 時～15 時 30 分

○ポスター掲示は、8 月 30 日 12 時から可能となります。13 時までにはポスターを掲示してください。

○ポスターは、8 月 31 日 16 時 30 分までに撤去してください。
（撤去されない場合は大会委員会で破棄いたします。）

【一般口頭発表】

○講演時間は、発表 12 分、質疑応答 2 分、交代 1 分です。時間厳守でお願い致します。

○発表はすべてノート PC と PC プロジェクターを用いた映写により行います。原則として、Windows の Power Point 2007/2010（Windows 7）システムを用います。MacOS をご利用の方はご自身の PC をご用意ください。

○講演スライドファイルは、必ずウイルスチェックをした USB フラッシュメモリにてご持参下さい。また、事前に上記システムでの表示において不具合がないことをご確認下さい。

○発表者（登壇者）は、必ずご講演 1 時間前に発表会場受付にお越し下さい。映写テストを行います。

○各発表者の皆様には、不測の事態に備えて、ご持参する USB フラッシュメモリに PowerPoint ファイルを PDF 化したファイルをご用意ください。Adobe Reader でのフルスクリーン映写を行います。ただし、アニメーションは使用不能ですので、その旨、あらかじめご了承下さい。

○不測の事態に備える方法として、ご自身のノート PC をご持参されることを推奨致します。なお、プロジェクターとのアナログ（VGA 端子）接続にコネクターが必要となる場合、変換コネクターをご持参下さい。またスクリーンの切り替え方法について、ご確認をお願い致します

【基礎講座・シンポジウム】

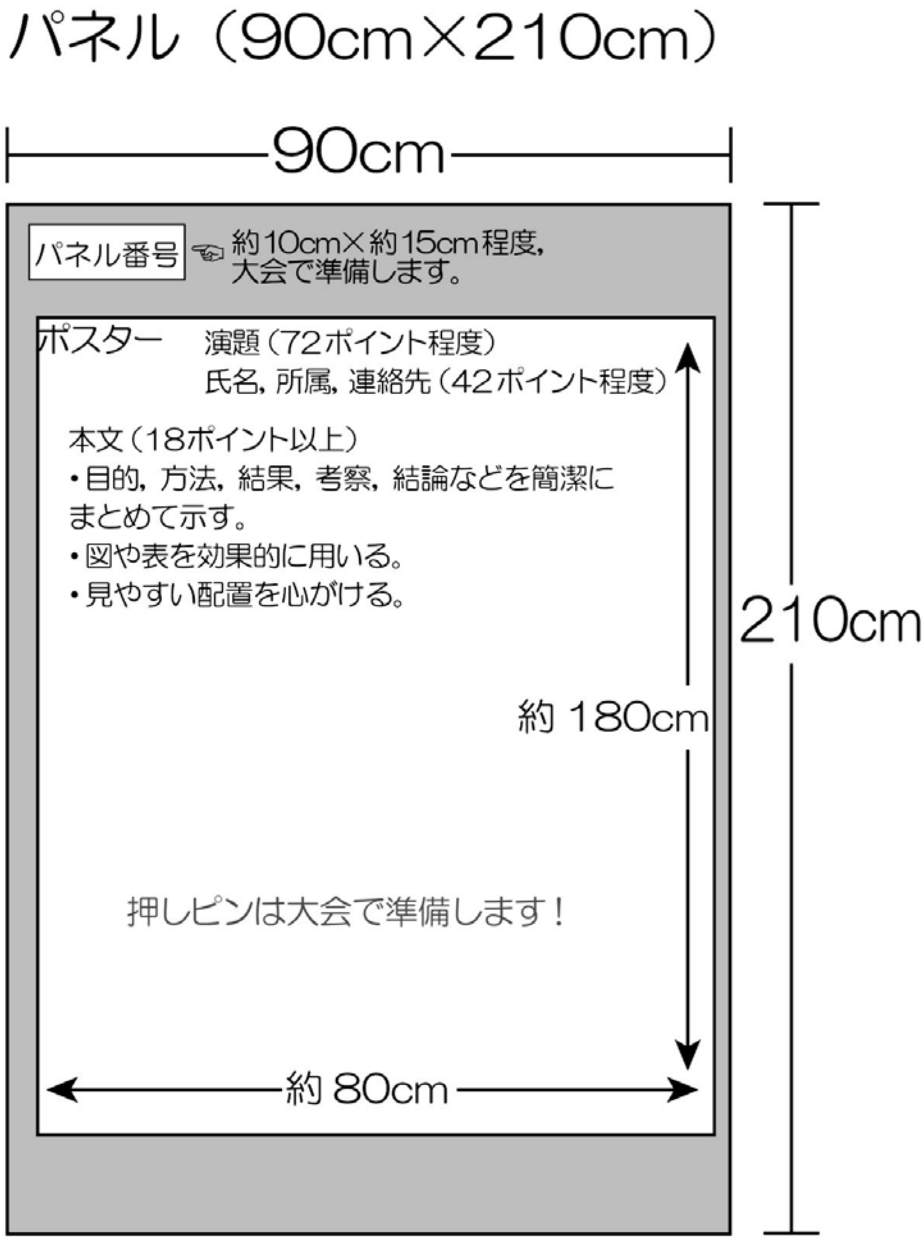
○口頭発表のみとなっています。

○発表時間は基礎講座およびシンポジウムによって異なっています。各担当のコーディネーターにご確認ください。

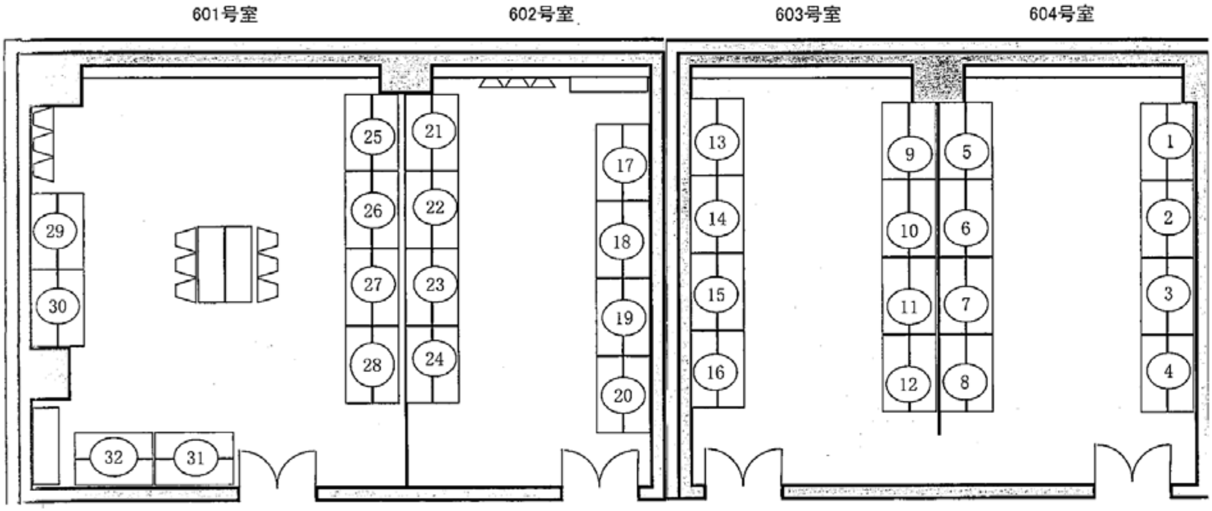
○すべてのスライド映写は Power Point 2007/2010（Windows 7）による液晶プロジェクターで行います。スライドファイルは USB フラッシュメモリでご持参ください。なお、正確に映写されない場合も予想されますので、ご自身の PC もご持参されることを推奨致します。また、MacOS をご利用の方もご自身の PC をご用意ください。

○発表者は、基礎講座あるいはシンポジウム開始 1 時間前に発表会場にお集まりください。スライドの映写確認等を行います。詳しくは担当のコーディネーターにご確認ください。

（ポスター見本）


パネル（90cm×210cm）
90cm
210cm
パネル番号
約10cm×約15cm程度，
大会で準備します。
ポスター
演題（72ポイント程度）
氏名，所属，連絡先（42ポイント程度）
本文（18ポイント以上）
・目的，方法，結果，考察，結論などを簡潔に
まとめて示す。
・図や表を効果的に用いる。
・見やすい配置を心がける。
約 180cm
押しピンは大会で準備します！
約 80cm

8. 商品展示会社一覧



コマ番号	会　社　名	出　品　物
21	江崎グリコ（株）	抗菌性シート（ヨウ素含有レーヨン）
28	エンバイオ(株)	液体サイクロン　エアーサンプラー　コリオリスμ他
17	小津産業（株）	ミンケア・アクトリル
23	関東化学（株）	微生物試験用培地等
29	けいはんな文化学術協会	非破壊微生物活性計測システム
18	サラヤ（株）	衛生薬剤　等
4	ｼｽﾒｯｸｽ･ﾋﾞｵﾒﾘｭｰ（株）	全自動細菌同定ｼｽﾃﾑ、ｴｱｰｻﾝﾌﾟﾗｰ、局法準拠各種培地
22	JNC（株）（旧チッソ（株））	微生物検出シート培地「サニ太くん」
15	生化学ﾊﾞｲｵﾋﾞｼﾞﾈｽ（株）	エンドトキシン測定用システム
16	生化学ﾊﾞｲｵﾋﾞｼﾞﾈｽ（株）	
30	（独）製品評価技術基盤機構	JIS 試験菌等の紹介
27	（株）センコム	滅菌モニタリング製品
2	タカラバイオ（株）	PCR／リアルタイム PCR による微生物検査システム
3	タカラバイオ（株）	
5	東ソー（株）	遺伝子検査システム　TPCRapid-160
25	日油技研工業（株）	ケミカルインジケータ、滅菌バック
9	ニッタ（株）	衛生検査キット、パーティクルカウンター
19	日本ﾍﾞｸﾄﾝ･ﾃﾞｨｯｷﾝｿﾝ（株）	環境微生物検査関連商品
20	日本ﾍﾞｸﾄﾝ･ﾃﾞｨｯｷﾝｿﾝ（株）	
10	日本ミリポア（株）	ﾐﾘﾌﾚｯｸｽ Quantum 迅速検査ｼｽﾃﾑ、ﾐﾘﾌﾚｯｸｽ PLUS
13	ビオテスト（株）	エアーサンプラー、パーティクルカウンター
14	ビオテスト（株）	微生物試験培地キット
6	（株）ベリタス	Celsis 社 ATP 法微生物迅速測定装置
24	丸石製薬（株）	手指消毒剤
26	ミドリ安全（株）	バイオサンプ MBS-1000 他
11	メルク（株）	微生物検査用培地、検出試薬
12	メルク（株）	
1	ﾗｲﾌﾃｸﾉﾛｼﾞｰｽﾞｼﾞｬﾊﾟﾝ（株）	遺伝子解析技術を用いた微生物同定・検出システム
7	和光純薬工業（株）	トキシノメーターET-6000、PTS 他
8	和光純薬工業（株）	日本薬局方対応培地、簡易衛生検査機器 等

（会社名五十音順）

9. 研究発表の特許手続上の証明について

本会は特許法第30条第1項の規定による「特許庁長官が指定する学術団体」に指定されて(Vol.5 No.10p53参照)おりますので、大会において文書をもって発表し、(1)その発表した日より6か月以内に、その発明者が実用新案または特許について「特許法第30条第1項の適用をうけようとする旨を記載した書面」を、特許出願と同時に特許庁長官に提出し、(2)さらに、その発明、考案が「本会開催の大会で発表されたものであることを証明する本会発行の証明書」を出題の日より30日以内に特許庁長官に提出するときには、その発明、考案は新規性を失わないと認められることになっています。このさい、大会講演要旨集に記載されていることがらに関しては、刊行物とみなされるので当然保護されます(講演要旨集に記載されたものと全く同文、あるいはコピー複写を特許庁に提出される場合は座長の確認は必要ありません)。したがって、大会講演要旨に記載のないことがらについての発表を保護の対象としたいときのみ、別に文書を本会に提出することになります。それには、(イ)発表者は、発表のもとになる「文書」(全部または必要部分の抄本)を作成し、必ず、当日、座長(ポスターの場合は、会場責任者、以下同じ)に提出し、発表後、口頭で発表したことの事実を座長に「確認」してもらいます。ポスター会場責任者は、「会場責任者席」におります。(ロ)座長の確認を受けるには、次の例に示すような「確認書」を発表者が作成して、「文書」とともにあらかじめ座長に提出します。(ハ)出願者が本会発行の証明書を特許庁長官に提出するときは、座長の捺印した「確認書」1通、「文書」2通(正、副)のほか、下記の例に示すような「証明書」(学会の控1通を含む2通)を作成して、返信用封筒(宛先記入、切手貼付)を同封し、本会あてその証明を請求してください。本会では、この証明書に、「文書」のうち1通(正)をつけて返送いたします。(詳しくは次ページ参照)

確認書の例

平成23年○月○日日

日本防菌防黴学会御中　　平成23年度日本防菌防黴学会大会

第○会場座長○○○○○　印

平成23年度日本防菌防黴学会大会において、添付の文書のとおり発表があったことを確認いたします。

記

講演日時：平成23年○月○日

講演場所：千里ライフサイエンスセンター(大会○会場)

講演番号：11Pm-20 (例)

発表者および演題：山田一郎「・・・演題・・・」(例)

証明書の例

証明書

平成23年○月○日日

特許庁長官○○○○殿　　　日本防菌防黴学会御中

会長　○○○○○　印

本会開催による平成23年9月○日の平成23年度日本防菌防黴学会大会において、山田一郎は、添付の文書をもって発表したことを証明いたします。

(注)

1. 発表者が連名の場合は「確認書」、「証明書上「文書」とも全員の名前を記入すること。
2. ポスター発表の場合は「確認書」中の「座長」を「ポスター会場責任者」に変更して下さい。

【大会における研究発表の特許手続上の証明手続きについて】

発表者作成書類

1）発表した事実を座長に確認してもらう**「確認書」**（1通）
2）講演要旨集掲載分以外で保護対象としたい**「発表のもとになる文書」**（2通，**座長が割印できるよう袋とじにすること**）
（講演要旨集掲載分は、刊行物とみなされるので、そのまま保護されます）
3）発表した事実を学会に証明してもらう**「証明書」**（2通）

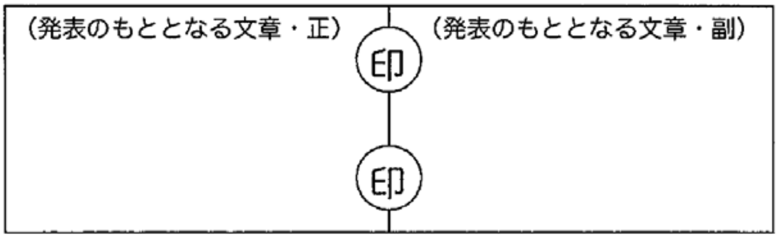
発表者 ――→ 座長

下記のもの座長へ提出して捺印をもらう

「確認書」（1通）

「発表のもとになる文書」（2通）

割印例　　**座長は「発表のもとになる文書」の総ての頁の上下2ヵ所に押印すること**



発表者 ←―― 座長

座長、下記のものに捺印して発表者へ返送

「確認書」（1通）

「発表のもとになる文書」（2通）

発表者 ――→ 学会

発表者、学会事務局宛、**返信封筒を付けて**下記の書類を送る

（550-0005 大阪市西区西本町 1-13-38 新興産ﾋﾞﾙ９F　日本防菌防黴学会事務局宛）

「確認書」（1通）座長が押印したもの

「発表のもとになる文書」（2通）座長が押印したもの

「証明書」（2通）

発表者 ←―― 学会

学会事務局から、下記を発表者へ返送する。

「発表のもとになる文書」（1通）

「証明書」（1通）

（「確認書」（1通）・「発表のもとになる文書」（1通）・「証明書」（1通）は学会事務局で控えとして保管いたします。）

10. 研究発表プログラム

1日目　8月30日（火）

〔サイエンスホール〕

基礎講座（13:00 ～ 17:00）：微生物との戦いは永遠に続く！ー芝崎勲先生追悼記念講演会ー

協賛：環境管理技術研究会，食品安全ネットワーク，
(公財) 体質研究会（放射線照射利用促進協議会），(公社) 日本生物工学会，
日本清涼飲料研究会，フードサニテーションパートナー会

コーディネーター：森田和矢（サラヤ㈱）・米虫節夫（大阪市大）

総合司会：古田太郎（サラヤ㈱）

開会挨拶（13:00 ～ 13:15）

米虫節夫（大阪市大）

記念講演

L-1　13:15-13:35　手洗いと公衆衛生ー微生物制御の先達を偲ぶ

○更家悠介（サラヤ㈱）

L-2　13:35-13:55　食品開発と市場の動向ー遠い日の思い出とともに

○片山　務（不二製油㈱）

基礎講座

座長：中川善博（凸版印刷㈱）

L-3　14:00-14:35　微生物とは何ものか？ーその生と死をめぐって

○土戸哲明（関西大・化学生命工）

L-4　14:35-15:10　微生物とどう戦うか？ー微生物制御の現状と将来

○高麗寛紀（徳島大）

座長：塚正泰之（近畿大）

L-5　15:10-15:45　食品衛生の基本とはートータルサニテーションが目指すもの

○上田　修（ならコープ）

L-6　15:45-16:20　食品工場はどうあるべきか？
ー現場での微生物制御とソフト・ハードのバランスの重要性

○佐藤徳重（フードテクノエンジニアリング㈱・技術）

座長：角野久史（食品安全ネットワーク）

L-7　16:20-16:55　微生物制御はどこまでシステム化できるか？ーHACCPからFSSC22000

○米虫節夫（大阪市大・工）

閉会挨拶（16:55 ～ 17:00）

高麗寛紀（徳島大）

〔千里ルーム〕

シンポジウム1（13:00 ～ 15:30）：人工透析分野における微生物制御について考える

コーディネーター：坂上吉一（近畿大）・奥田舜治（北里環境科学センター）

S1-1　13:00-13:35　透析の安全性ー医療分野での経験を踏まえて

○大薗英一（越谷大袋クリニック，日医大・微生物免疫）

S1-2　13:35-14:10　透析用機器ー製品供給の立場で

○福島　浩（ニプロ㈱・国内事業）

S1-3　14:10-14:45　電気透析技術によるエンドトキシンの除去・不活化法について

○佐藤利夫（島根大・生物資源）

S1-4　14:45-15:20　透析分野における微生物制御対策について

○坂上吉一（近畿大・農）

2日目　8月31日（水）

〔サイエンスホール〕

シンポジウム2（9:00 ～ 12:00）：微生物胞子の正体を知る　ーよりよい制御を目指してー

コーディネーター：古田雅一（大阪府立大学）・久米田裕子（大阪府立公衆衛生研究所）

S2-1　9:00-9:35　細菌の胞子形成と胞子の発芽の基礎

○高松宏治（摂南大・薬）

S2-2　9:35-10:10　微生物胞子の耐性と制御の基礎

○坂元　仁（関西大・化学生命工）

S2-3　10:10-10:45　カビ胞子を知るそして抑える

○高鳥浩介（NPO法人カビ相談センター）

S2-4　10:45-11:20　微生物胞子の物理的殺菌を考える

○古田雅一（大阪府大・放射線研究センター）

S2-5　11:20-11:55　微生物胞子の化学的殺菌を考える

○白井昭博（徳島大院・ソシオテクノサイエンス）

シンポジウム3（13:00 ～ 16:30）：洗浄技術の効率化に向けた現場レベルでの課題と対策

コーディネーター：福崎智司（岡山県工業技術センター）・熊谷善敏（P&Gジャパン㈱）

S3-1　13:00-13:40　洗浄技術の基礎と今後の課題

○矢野俊博（石川県大・生物資源環境）

S3-2　13:40-14:20　洗浄の効率化を目的とした洗剤成分と洗浄装置の選定

○川崎　寛（理工協産㈱・研究）

S3-3　14:20-15:00　食品製造ラインの衛生管理と発泡洗浄

○久山　隆[1]，渡辺光也[2]，渕上高行[3]

([1]㈱クレオ・事業本部，[2]㈱クレオ・サニテーション事業，[3]㈱クレオ・大阪)

S3-4　15:00-15:40　醸造工場における洗浄操作の実態と効率化への取り組み

○福崎智司（岡山工技セ・研究開発）

S3-5　15:40-16:20　トータルサニテーションコストダウンとサスティナビリティーへのアプローチ

○宮澤史彦（エコラボ㈱・F&B事業）

〔千里ルーム〕

一般研究発表（口頭）(9:00 ～ 16:30)

＜環境微生物・環境微生物制御＞

座長：森田　洋（北九州市大）

Oa-1　9:00　建築一体化空調における微生物汚染の実態解明に関する研究ー第1報

○柳　宇[1]，鍵　直樹[2]，大澤元毅[2]，工藤裕太[1]，松鵜悟実[3]，石松維世[4]，龍　有二[3]

([1]工学院大・建築，[2]科学院，[3]北九州市大，[4]産医大)

Oa-2　9:15　汚染した壁紙から分離したカビの生理特性

○濱田信夫，阿部仁一郎（大阪市環境科学研）

座長：古畑勝則（麻布大）

Oa-3　9:30　富山県内で分離された*L. pneumophila*血清群（SG）1の遺伝子解析

○金谷潤一，磯部順子，木全恵子，嶋　智子，佐多徹太郎，綿引正則

（富山衛研・細菌）

Oa-4　9:45　塩素系薬剤ミストを用いた実大空間除菌システムにおけるBI滅菌成否とCT値の関係

○伊澤康一[1]，山口　一[1]，鈴木　令[1]，三浦靖弘[1]，田中昭司[2]，森山宏二[3]

([1]清水建設㈱・技術研，[2]清水建設㈱・設計，[3]㈱シミズ・ビルライフケア)

Oa-5　10:00　バイオフィルム形成過程の解析とバイオフィルム除去洗浄法の開発に向けた基礎的研究

○小林恵太[1]，原口愛葵[1]，田中真澄[1]，里見大輔[1]，松村吉信[1,2]

([1]関西大・化学生命工，[2]関西大・ORDIST)

＜食品衛生・院内感染防止＞

座長：泉　秀実（近畿大）

Oa-6　10:15　東京都で経験した真菌を原因とする食品苦情事例

○高橋由美，千葉隆司，和宇慶朝昭，仲真晶子，甲斐明美

（東京健康安全センター・微生物）

Oa-7　10:30　飲食チェーン店の食の安全・安心への取り組み

○近藤千晶[1]，福田麻里子[1]，岩岡浩史[1]，笠井慶子[1]，大塚智仁[1]，林　芳樹[1]，

福原克治[1]，菊野理津子[2]（[1]大庄・食衛研，[2]北里環境科学センター）

Oa-8　10:45　Liquidchromatography/mass spectrometry法による*Bacillus cereus* 嘔吐毒検出

○上田成子[1]，上野　宏[2]，酒井史彦[2]，岩瀬美紀[1]，中島　肇[2]，品川邦汎[3]，桑原祥浩[1]

([1]女子栄養大・衛生，[2]雪印メグミルク㈱・ミルクサイエンス研，[3]岩手大・獣医)

座長：前田拓也（兵庫医療大）

Oa-9　11:00　Etakを付加した繊維の抗ウイルス能測定

○柚下香織[1]，川端涼子[1]，大島邦裕[2]，勝圓　進[2]，二川浩樹[1]，坂口剛正[1]

([1]広島大・医歯薬，[2]倉敷紡績㈱・技術研)

Oa-10　11:15　バイオハザード対策用防護服の微生物防護性能評価に関する研究

○篠原克明[1]，嶋崎典子[1]，森本美智子[2]，池原弘展[2]，東　知宏[2]，
熊谷慎介[3]，小野澤哲夫[3]，菊野理津子[4]
([1]国立感染症研，[2]兵庫県大・看護，[3]アゼアス㈱，[4]北里環境科学センター）

Oa-11　11:30　浮遊微生物に対するバイオハザード対策用防護服素材の防護性能評価に関する研究

○岡上　晃[1]，野島康弘[1]，菊野理津子[1]，嶋崎典子[2]，吉田　弘[2]，篠原克明
([1]北里環境科学センター，[2]国立感染症研）

Oa-12　11:45　帯電微粒子水の各種抗菌薬耐性菌に対する短時間殺菌作用

○小林寅喆[1]，劉　遡[1]，金山明子[1]，今井健之[2]，浅野幸康[2]
([1]東邦大・看護，[2]パナソニック電工　電器R&Dセンター）

＜滅菌・殺菌・除菌法＞

座長：松村吉信（関西大）

Op-1　13:00　パルスドキセノン装置による滅菌効果特性

○吉野　潔，岩崎達行，木下　忍（岩崎電気㈱・技術研）

Op-2　13:15　三室型電解水製造装置で生成した弱酸性電解水による殺菌効果

○澄田康光，山中弘次（オルガノ㈱）

Op-3　13:30　オゾンガスによる芽胞滅菌の性能評価

○岩村卓嗣[1]，奥田慎一[2]，小阪教由[2]，野上俊宏[3]，新谷英晴[3]，加藤美好[1]
([1]大成建設㈱・設計，[2]㈱ハマネツ，[3]㈱富士薬品・富山第二工場品証，[4]中央大・理工）

座長：澤井　淳（神奈川工科大）

Op-4　13:45　芽胞を対象としたオゾンガスのD値測定

小阪教由[1]，伊藤聖孝[1]，○奥田慎一[2]，新谷英晴[3]
([1]㈱ハマネツ・環事，[2]東急車輌製造㈱，[3]元国立医薬品食品衛生研）

Op-5　14:00　スプレー式小型オゾン水生成装置の特性と使用者への影響評価

○松石早矢[1]，金元美樹[1]，北折典之[1]，平尾和宏[2]，錦　善則[2]，宇野雅晴[2]
([1]東京高専・物質工，[2]ペルメレック電極㈱・開発）

Op-6　14:15　イオン性界面活性剤の殺菌力に及ぼす塩の影響

○壷内里枝，高井政貴（三浦工業・RDセンター）

座長：岩沢篤郎（東京工業大）

Op-7　14:30　空気清浄機のウイルス不活化試験に用いるファージ付着基材の検討

○中野大介，木村由紀子，土屋　禎，吉田信一郎，浅尾　努
（日本食品分析センター）

Op-8　14:45　乾燥状態における*Enterobacter sakazakii, Escherichia coli* の放射線感受性変化
〇藤井夏日，石川悦子，小池佳都子，古田雅一（大阪府大院・理）

Op-9　15:00　空気による新たな永続的殺菌システムの可能性（Ⅱ）
〇池谷　崇，田嶋菜々美，福島由美子，土坂なる美，大河内正一（法政大・生命科学）

＜抗菌活性＞

座長：石井営次（近畿大）

Op-10　15:15　*Moorella thermoacetica* に対するショ糖脂肪酸エステルの作用特性
〇小林哲也，青山好男（東洋食品研・食品科学）

Op-11　15:30　大腸菌における抗菌性界面活性剤耐性に重要となるスーパーオキシドストレス適応
〇中田訓浩[1]，富田安哉子[2]，松村吉信[1,2]（[1]関西大・ORDIST，[2]関西大・化学生命工）

＜方法論＞

座長：斉藤美佳子（東京農工大）

Op-12　15:45　循環式浴槽ろ過器内ろ材のレジオネラ属菌検出に係る前処理方法の検討
〇住谷敬太[1]，木村哲也[1]，斎藤利明[1]，吉住正和[2]，藤田雅弘[2]，森田幸雄[2,3]，木村博一[2,4]，
小澤邦壽[2]（[1]㈱ヤマト，[2]群馬県衛環研，[3]東京家政大，[4]国立感染研）

Op-13　16:00　低価格・簡易・迅速・微生物検出を目的とした検査法の検討
〇富永　桂，上坂良彦，小高秀正（日水製薬㈱・研究開発）

Op-14　16:15　光散乱法によるエンドトキシン測定の分析法バリデーション
〇杉浦友香[1]，廣野泰亮[1]，室井正志[2]，棚元憲一[2]（[1]興和㈱，[2]武蔵野大・薬）

1-2日目　8月30日（火）・31日（水）

〔ライフホール〕

一般研究発表（ポスター）（終日掲示）

コアタイム　講演番号30P：8月30日（火）14:00-15:30
講演番号31A：8月31日（水）10:00-11:30，講演番号31P：8月31日（水）14:00-15:30

＜滅菌・殺菌・除菌法＞

座長：坂上吉一（近畿大），久米田裕子（大阪府公衆衛生研），白井昭博（徳島大）

P1-30P　弱酸性次亜塩素酸水溶液のウイルス不活化の検討
○村山智美[1]，佐藤利夫[1]，小野朋子[2]，山下光治[2]
([1]島根大・生物資源，[2]㈱エイチ・エス・ピー・研究開発)

P2-31A　漂白活性化剤の示すカリシウイルス不活性化効果の特性
○戸部聖一[1]，飯塚絹江[2]，星　麻利華[2]，蓼沼裕彦[1]，高岡弘光[1]，小森谷友絵[3]，神野英毅[2,3]
([1]ライオン㈱・ファブリックケア研，[2]日本大院・生産工，[3]日本大・生産工)

P3-31P　繊維に付着したカリシウイルスの検査法の研究と洗浄基剤の評価
○星　麻利華[1]，飯塚絹江[1]，戸部聖一[2]，小森谷友絵[3]，神野英毅[1,3]
([1]日本大院・生産工，[2]ライオン㈱・ファブリックケア研，[3]日本大・生産工)

P4-30P　*Paenibacillus*属細菌の過酢酸耐性と殺菌条件の検討
○斉藤亮太[1]，一関さやか[1]，山崎浩司[1]，川合祐史[1]，林　秀樹[2]
([1]北海道大・院水産，[2]ADEKAクリーンエイド㈱)

P5-31A　*Staphylococcus aureus*の界面活性剤処理で生じる細胞損傷とストレス応答の解析
○太田美也子[1]，香川芳太郎[1]，中田訓浩[2]，松村吉信[1,2]
([1]関西大・化学生命工，[2]関西大・ORDIST)

P6-31P　インフルエンザ、ワクチニアおよび手足口病原因ウイルスに対する二酸化塩素ガス溶存液の抗ウイルス活性
○實方　剛[1]，福田俊昭[2]，森野博文[2]，三浦孝典[2]，柴田　高[2]，山崎謙治[3]
([1]鳥取大・獣医感染症，[2]大幸薬品㈱・研究開発，[3]大阪府公衛研・ウィルス)

P7-30P　二酸化塩素ガス溶存液の食中毒菌及びピロリ菌に対する抗菌活性について
○有田美知子[1]，長田久美子[2]，福田俊昭[3]，森野博文[3]，三浦孝典[3]，柴田　高[3]
([1]岡山県大・保健福祉，[2]千里金蘭大・生活科学，[3]大幸薬品㈱・研究開発)

P8-31A　ヨーロッパ標準法を参考にした腸管出血性大腸菌に対する消毒剤、洗浄剤などの有効性評価
○髙見貴之，原田　裕，谷口　暢，古田太郎（サラヤ㈱・BCL）

P9-31P　新規薬剤（CT化合物）の細菌に対する殺菌能および殺菌メカニズムの基礎的研究
○濱﨑洋輔[1]，前田四郎[2]，森　美穂[1]，坂上吉一[1]（[1]近畿大・農，[2]浜理薬品）

P10-30P　弱酸性次亜塩素酸水溶液のスギ花粉アレルゲンCryj1に対する不活化効果

○小野朋子[1]，山下光治[1]，佐藤利夫[2]（[1]㈱エイチ・エス・ピー・研究開発，[2]島根大・生資）

P11-31A　アルカリ泉掛け流し式浴槽に対するモノクロラミン消毒の導入

○杉山寛治[1]，神田　隆[1]，縣　邦雄[2]，久保田明[3]，泉山信司[4]，小坂浩司[5]，遠藤卓郎[6]，倉　文明[6]（[1]静岡県環衛科研・微生物，[2]アクアス・つくば総研，[3]中伊豆温泉病院・臨床検査，[4]国立感染研・寄生動物，[5]国立医療科学院・生活環境研，[6]国立感染研・細菌第一）

P12-31P　プラスチックへの遊離有効塩素の浸透

○岩蕗　仁，石田拓也，福崎智司（岡山工技セ・研究開発）

P13-30P　紫外線LEDの水中微生物に対する消毒効果

○土江麻代[1]，佐藤利夫[1]，倉谷晶子[2]
（[1]島根大院・生物資源，[2]ハリソン東芝ライティング㈱）

P14-31A　再生水造水のための排水消毒技術としてのマイクロ波給電式無電極紫外線ランプの適用性の検討

○仲川　舞[1]，佐藤利夫[1]，倉谷晶子[2]
（[1]島根大院・生物資源，[2]ハリソン東芝ライティング㈱）

P15-31P　次亜塩素酸のアミノ酸への作用に対するpHの影響

安冨真央[1]，○岩沢篤郎[2]，西本右子[1]（[1]神奈川大・理，[2]東京工大・生命理工）

P16-30P　次亜塩素酸を含有する電解水の殺菌機構に関する基礎検討 (アミノ酸との相互作用に関して)

○安冨真央[1]，岩沢篤郎[2]，西本右子[1]（[1]神奈川大・理，[2]東京工大院・生命理工）

P17-31A　食品現場で使用される次亜塩素酸水および次亜塩素酸ナトリウムの有機物存在下における有効性評価

○加藤信一，中村絵美，髙見貴之，隈下祐一，古田太郎（サラヤ㈱・BCL）

P18-31P　アニオン界面活性剤の殺菌有用性と作用機序に関する研究

○森部光俊[1]，森田靖之[2]，筒井葉月[1]，柿澤恭史[1]，万代好孝[1]
（[1]ライオン㈱・ビューティケア研，[2]ライオン㈱・分析技術センター）

P19-30P　金属触媒技術を用いたクリーニング用除菌洗剤

○斉藤純一[1]，河野陽介[2]，有田佳子[2]
（[1]ライオンハイジーン㈱・開発研，[2]ライオン㈱・研究開発）

P20-31A　樹脂フィルムと菌付着性、防菌防カビ性

○堀　真理子，早川誠一郎（日本合成化学）

P21-31P　次亜塩素酸ナトリウムで洗浄した銅含有ステンレス鋼の抗菌作用

○林　孝綱，川上洋司，菊地靖志，佐藤嘉洋（大阪市大院・工）

P22-30P　異常プリオン蛋白質（PrP^{Sc}）の超好熱菌由来プロテアーゼによる分解
○古賀雄一[1]，田中俊一[2]，作道章一[3]，高野和文[4,5]，金谷茂則[1]
（[1]大阪大院・工，[2]天野エンザイム㈱，[3]琉球大・医，[4]京都府大院・生命環境研，[5]JST）

P23-31A　微生物細胞の活性炭に対する吸着に及ぼす前培養条件の影響
○冨田和寿[1]，菊地幹夫[2]，澤井　淳[2]（[1]神奈川工大院・工，[2]神奈川工大・応用バイオ科学）

P24-31P　家庭用洗剤の抗菌力の比較
○伊藤隆弥，上田啓正，田平明日香，東野莉奈，今村大輔，桑名利津子，高松宏治，
渡部一仁（摂南大・薬）

P25-30P　新規滅菌装置の開発：低温窒素ガスプラズマを用いた病原細菌の滅菌
○川村久美子[1]，小栗智子[1]，佐藤夏巳[1]，木藤伸夫[2]，新谷英晴[3]，今西雄一郎[4]，清水尚博[4]
（[1]名古屋大・医，[2]名古屋大・理，[3]中央大・理工，[4]日本ガイシ）

P26-31A　枯草菌芽胞の発芽に関与するYtfIおよびYtfJタンパク質の機能解析
○石田千尋，十倉孝枝，西村真由美，米田航佑，今村大輔，桑名利津子，高松宏治，
渡部一仁（摂南大・薬）

P27-31P　枯草菌芽胞の新規発芽に関与するタンパク質の探索
○十倉孝枝，石田千尋，西村真由美，米田航佑，今村大輔，桑名利津子，高松宏治，
渡部一仁（摂南大・薬）

P28-30P　枯草菌芽胞の発芽に関与するタンパク質機能の比較解析
○米田航佑，石田千尋，十倉孝枝，原　佑太，今村大輔，桑名利津子，高松宏治，
渡部一仁（摂南大・薬）

P29-31A　乳酸菌由来バクテリオシンは*Porphyromonas gingivalis* LPSによるマクロファージの活性化を抑制する
○黒瀬めぐみ[1]，峯　裕一[2]，冨山結布[1]，田地　豪[2]，河原和子[2]，笹原妃佐子[2]，二川浩樹[2]
（[1]広島大・歯，[2]広島大院・医歯薬）

P30-31P　光触媒を担持したアルギン酸ゲルビーズの殺菌効果
○伊勢田弘太郎[1]，石野靖浩[2]，恵良真理子[2]，田部井陽介[2]，森田　洋[2]
（[1]北九州大院・国際環境工，[2]北九州大・国際環境工）

P31-30P　温泉における*Legionella pneumophila*の回収方法の検討
○加藤尚之[1]，齋藤宏治[1]，田中敏之[2]，大野　章[1]（[1]東邦大・医，[2]㈱パルマビーズ）

P32-31A　*Fusarium graminearum*が培養中に産生する細胞壁分解酵素に関する研究
○三木秀基，石丸　恵，泉　秀実（近畿大・生物理工）

＜抗菌活性＞

P33-31P　延命草（*Isodon japonicus*）に由来するジテルペンの抗う蝕活性

○山田恭正[1]，尾上孝利[2]（[1]同志社女子大・食物栄養，[2]太成学院大・看護）

P34-30P　ヒノキチップからの抗菌成分の抽出とその抗菌活性の熱的測定

○高橋和宏[1]，常定　健[1]，中野裕久[2]（[1]岡工技セ，[2]旭工業㈱）

P35-31A　フィトンチッド液の抗菌活性と急性経口毒性について

○沖田真理[1]，河相春奈[1]，西本有貴[1]，岡田芳治[1]，三原安經[2]，野村正人[1]
（[1]近畿大院・システム工，[2]日本フィトンチッド㈱）

P36-31P　D-Riboseによる各種細菌の増殖抑制効果について

○神谷和人（愛知県大・看護）

P37-30P　植物性常用食材の*Helicobacter pylori*に対する抗菌活性とその意義

○石井営次，藤井万矢，鶴橋洋紀（近畿大　生物理工）

P38-31A　食材などの天然物質による*Helicobacter pylori* Urease活性の簡易測定法の検討とその利用の有効性について

○藤井万矢，鶴橋洋紀，石井営次（近畿大　生物理工）

P39-31P　チアゾールを主骨格とする新規抗アメーバ剤の合成とその生物学的特性

○遠藤聡志[1]，白井昭博[2]，久保山泰典[1]，間世田英明[2]，大政健史[2]
（[1]徳島大院・先端技術科学教育，[2]徳島大院・STS研）

P40-30P　カルボキシル基導入アクリレート素材の抗ウイルス特性

○小見山拓三[1]，山田雅夫[2]（[1]日本エクスラン工業㈱・研究，[2]岡山大・医）

P41-31A　アミノ酸関連化合物等の抗菌活性（NO.7）

○髙野三郎[1]，鈴木和雄[2]（[1]文教大・教育，[2]神奈川県保健福祉大）

P42-31P　水溶性の*S*-メチル-*L*-システイン銀（I）錯体の合成、分子構造と抗菌活性

野宮健司，力石紀子，○吉川理絵（神奈川大・理）

P43-30P　水溶性ヒスチジン銀（I）錯体を加えて培養したバクテリアの電子顕微鏡観察

野宮健司[1]，○力石紀子[1]，吉川理絵[1]，高木由貴[2]，伊能小百合[1]，吉田拓也[1]，鈴木季直[1]，
早津　学[1]（[1]神奈川大・理，[2]神奈川大・理OB）

P44-31A　水溶性のトリス（3-スルホナトフェニル）ホスフィンを配位子とした水溶性金（I）錯体の合成と抗菌活性

野宮健司，力石紀子，○伊能小百合，吉田拓也（神奈川大・理）

P45-31P　黄色ブドウ球菌に対する酸化亜鉛ナノ粒子の抗菌特性の評価

○石鳥谷景子[1]，菊地幹夫[2]，澤井　淳[2]（[1]神奈工大院・工，[2]神奈工大・応用バイオ科学）

P46-30P　酸化亜鉛ナノ粒子の抗菌作用に関する研究
○佐藤（美甘）江利子，松田光平，宮瀬大資，前田拓也，西原　力（兵庫医療大・薬）

P47-31A　銀複合ナノ粒子の切り花の品質保持剤としての応用
○岩坪　聡（富山県工技・中央研）

P48-31P　耐光性が向上した水溶液型銀系抗菌剤の開発
○仁平南帆子，真玉橋朝蔵，仲宗根正人，尾藤昌巳（㈱J-ケミカル・技術開発）

P49-30P　持続性銀含有ポリマーによる新規抗菌技術
○小川美規[1]，Ghosh Tirthanker[2]
([1]ローム・アンド・ハース・ジャパン㈱　バイオサイド，[2]Dow Chemical・R&D)

P50-31A　焼成ホタテ貝殻粉末処理によるサルモネラ菌バイオフィルムの制御
久保美侑，永沢幸治郎，菊地幹夫，○澤井　淳（神奈川工大・応用バイオ科学）

P51-31P　糖添加焼成ホタテ貝殻粉末スラリーのスケール生成抑制及び食品への応用
○阿部真也[1]，若澤　仁[2]，菊地幹夫[2]，澤井　淳[2]
([1]神奈川工大院・応化，[2]神奈工大・応用バイオ科学)

P52-30P　Heat and alkanol stresses in *Escherichia coli* cells expressing a GFP variant at cell envelope
○Bui Huong Thi，坂元　仁，土戸哲明（関西大・化学生命工）

P53-31A　カテキン類の乳酸菌に対する抗菌作用機構の解明
○徐　文ジ[1]，中山素一[2]，重宗尚文[2]，継国孝司[2]，人見　潤[2]，徳田　一[2]，本城賢一[3]，宮本敬久[3]（[1]九州大院・生資環，[2]花王㈱・安全研，[3]九州大院・農院）

P54-31P　高い抗ウイルス効果を示す脂肪酸塩の熱的特性
○川原貴佳[1,4]，草場麻衣子[1]，坂口剛正[2,4]，酒匂　恵[3]，秋葉　勇[3,4]
([1]シャボン玉石けん㈱・R&D，[2]広島大・医歯薬学，[3]北九州大・国際環境工，[4]感染症対策研究センター）

P55-30P　乳酸菌*Lactobacillus rhamnosus*由来のバクテリオシンが口腔細菌に及ぼす影響
○冨山結布[1]，檜山あや[2]，黒瀬めぐみ[2]，田地　豪[1,2]，河原和子[2]，笹原妃佐子[2]，二川浩樹[2]
([1]広島大・歯，[2]広島大院・医歯薬)

P56-31A　化粧のりのよい表面性質と微生物付着に関する研究
○山本奈津美[1]，冨山結布[1]，河原和子[2]，笹原妃佐子[2]，田地　豪[2]，峰　裕一[2]，二川浩樹[2]
([1]広島大・歯，[2]広島大院・医歯薬学総合)

＜方法論＞

P57-31P　拭き取り法による表面付着菌体量の測定に関わる研究

○浦野博水，福﨑智司（岡山工技セ・研究開発）

P58-30P　蛍光染色法による製薬用水の生菌数迅速測定の検討

○小林央子[1]，鈴木雄介[1]，鈴木富美[2]（[1]日本ミリポア・ラボソリューションズ事業，[2]メルク・ラボソリューションズ事業）

P59-31A　マイクロプレートと最確数法を用いた菌数測定法での保存効力試験

○髙田浩一，中田雄一郎（参天製薬・製開セ）

P60-31P　生薬の微生物限度試験の培地に関する検討

○内林瑠美，小此木　明，大窪敏樹（クラシエ製薬㈱・漢方研）

P61-30P　少数生菌の定量的ソーティング

○中納広一郎，重富知也，舟橋久景，斉藤美佳子，松岡英明（東京農工大・生命工学）

P62-31A　生薬における特定微生物の検出方法の検討

○棚木有美，小此木　明，大窪敏樹（クラシエ製薬㈱・漢方研）

P63-31P　パーティクルカウンターによる粒径分布と空中真菌の相関

○清水　亨[1]，村松芳多子[2]，李　憲俊[3]，高鳥浩介[1]（[1]NPO法人カビ相談センター，[2]新潟県大・人間生活，[3]衛生微生物研究センター）

P64-30P　ATP定量法を用いた空中浮遊菌量迅速評価法の検討

○齊藤　智（㈱竹中工務店・技研）

P65-31A　非培養法による生菌数の迅速計測

○佐々木康彦[1]，稲波久雄[1]，渡邊裕介[2]（[1]㈱日立製作所・日立研，[2]㈱日立エンジニアリング・アンド・サービス・情報・制御システム）

P66-31P　腸炎ビブリオ用MPNプレートの評価

○寺村　哉，内田将文，小高秀正（日水製薬㈱）

P67-30P　カテキン中和剤入り簡易培地コンパクトドライの評価

○内田将文，寺村　哉，菓子田充明，小高秀正（日水製薬㈱）

P68-31A　自動生菌数測定装置テンポによる食品中のカビ酵母数の簡易・迅速測定

○山本千景[1]，山縣　尚[1]，内田和之[2]，久米田裕子[3]（[1]シスメックス㈱・学術，[2]シスメックス・ビオメリュー㈱・産業マーケ，[3]大阪公衛研・感染症）

P69-31P　マルチチャンネルSPRセンサーによる大腸菌O157:H7，サルモネラおよびリステリアの同時検出法の開発

○北岡勇人[1]，小林弘司[2]，本城賢一[3]，宮本敬久[3]
([1]九州大院・生資環，[2]福岡女子大・国際文理，[3]九大院・農院)

P70-30P　表面プラズモン共鳴（SPR）センサによる大腸菌迅速検査法の開発

○玉井　充[1]，小林弘司[2]，本城賢一[3]，宮本敬久[3]
([1]九州大院・生資環，[2]福岡女子大・国際文理，[3]九大院・農)

P71-31A　BCP加プレートカウント培地におけるBCPの阻害条件について

○川合広恵，小畠幸江，鬼頭亜美（㈱日本総合科学・食品衛生事業）

P72-31P　レジオネラ属菌検査精度向上への取り組みー外部精度管理

○井上浩章，高間朋子，馬場ますみ，石間智生，縣　邦雄（アクアス㈱・つくば総研）

P73-30P　リアルタイムPCR法による特定微生物の迅速検出

○青木裕二[1]，倉嶋秀樹[1]，高木光治[2]，小林礼治[2]，野村弘実[1]，小田昌宏[2]
([1]日本ポール㈱・応技研，[2]日本ポール㈱・製薬フィルター)

P74-31A　ルシフェールCT150を利用した大腸菌群判定迅速化検討

○山本　明，古川雄一，山﨑文典（森永製菓㈱・食品安全センター）

P75-31P　リアルタイムRT-PCR法を用いたレジオネラ迅速検査法の検討

○荒井桂子，堀切佳代，田中礼子，吉川循江，坂井　清，前沢　仁，高津和弘
（横浜市衛研・検査）

P76-30P　顕微鏡を用いた枯草菌に対する乳化剤の細胞毒性評価

○桑名利津子[1]，高松宏治[1]，今村大輔[1]，木ノ内智之[2]，藤田康弘[2]，出内桂二[2]，渡部一仁[1]
([1]摂南大・薬，[2]キリンビバレッジ・コア技術研)

P77-31A　蛍光顕微鏡を用いた飲料危害菌に対する芽胞評価

○木ノ内智之[1]，大山里英[1]，渡辺雄太[1]，出内桂二[1]，桑名利津子[2]，高松宏治[2]，今村大輔[2]，渡部一仁[2]
([1]キリンビバレッジ・コア技術研，[2]摂南大・薬)

P78-31P　膜厚制御型金属表面を適用した新規バイオアッセイによる銅の抗菌機構の解明

○宮野泰征[1,2]，本城国明[2]，古川壮一[4]，森永　康[4]，荻原博和[4]，神谷　修[3]，千葉　隆[2,5]，木内正人[2]（[1]秋田大・教育文化，[2]産総研・ナノ機能合成グループ，[3]秋田大・工学資源，[4]日本大・生物資源科学，[5]秋田県産総研センター）

P79-30P　発育遅延解析法を用いた細菌胞子凝集体に対する殺菌処理効果の評価

○鈴木挙磨作[1]，平井知子[2]，坂元　仁[1]，土戸哲明[1]
([1]関西大・化学生命工，[2]関西大院・理工)

P80-31A　化粧品の微生物限度試験法における特定微生物（細菌類）の検出
○新村貴子，今井正敏，篠田和宏，鈴木留佳，亀山浩一（㈱コーセー・研究）

P81-31P　化粧品の微生物限度試験における特定微生物（*Candida albicans*）の検出
○東　竜太，新村貴子，今井正敏，篠田和宏，鈴木留佳，亀山浩一（㈱コーセー・研究）

P82-30P　バイオエアロゾル試験のためのチャンバー内壁面の評価
○入江香成美，長谷川倫男，山崎信介，堀口康子（㈱山武・技術開発）

P83-31A　清掃の品質管理としてATP測定法を活用するための基礎的検討
○菊野理津子[1]，高橋慶彦[1]，辻　麻美[1]，飯塚千織理[1]，岡上　晃[1]，奥田舜治[1,2]，大谷勇作[2]，
酢屋ユリ子[2]（[1]北里環境科学センター・微生物，[2]病院環境管理研究会）

P84-31P　ちくわの腐敗におけるアルコール処理の影響
○羽田亜紀，吉田麻里，高橋克忠（けいはんな文化学術協会・JST食品微生物計測チーム）

P85-30P　シーエーティー 21ファスト®の菌特異性と検出能について
○坂田真理[1]，黒瀬美紀子[1]，張　暁旭[1]，淵本由子[1]，佐藤亜弓[1]，冨山結布[1]，高本祐子[2]，
二川浩樹[2]（[1]広島大・歯，[2]広島大院・医歯薬）

P86-31A　微生物試験に使用する混釈培養用培地の開発
○藤原隆史[1]，東　隆夫[1]，和多翔平[2]，森　美穂[2]，坂上吉一[2]
（[1]日本製薬㈱・ライフテック，[2]近畿大・農）

P87-31P　マトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析法による遺伝的近縁菌株の識別解析
室井正志[1]，○島　圭介[2]，中川恭好[3]，棚元憲一[1]
（[1]武蔵野大・薬，[2]島津製作所，[3]製品評価技術基盤機構）

P88-30P　カビ発生時の同定検査に於ける食品アイテム別の過去の事例活用の検討
○米津彰人[1]，後藤友美[1]，北井　智[1]，関　智子[1]，佐伯憲子[1]，岩井美和[1]，高鳥浩介[2]
（[1]㈱消費経済研究所・食品検査，[2]NPO法人カビ相談センター）

P89-31A　電気再生式脱塩装置を用いた人工透析用水製造における殺菌・エンドトキシン不活化のメカニズムに関する研究
○竹村拓人[1]，佐藤利夫[1]，阿瀬智暢[2]
（[1]島根大・生物資源，[2]ダイセンメンブレンシステムズ㈱）

P90-31P　セルロース誘導体に含まれるリムルス試薬反応物質によるエンドトキシン試験偽陽性反応
○土谷正和，Black Cynthia，Wainwright Norman，Jordan Foster
（Charles River, Endotoxin and Microbial Detection）

P91-30P　合成Lipid Aを用いたエンドトキシンのLAL活性に対する反応干渉作用の解析
○藤田　優，田中祥之（沢井製薬㈱・生物研）

P92-31A　保存効力試験に使用するかび胞子液の保存方法について
○鳥谷越千春，清水　暁（アンズコーポレーション・R&D）

P93-31P　給食現場での衛生管理手法の実態調査と給食管理実習における効率的な衛生管理手法の検討
○純浦めぐみ，村山恵美子，竹原小菊（鹿児島女子短大・生活科学）

P94-30P　生薬におけるアフラトキシン産生菌の挙動（2）
○長田悦子，小此木　明，大窪敏樹（クラシエ製薬㈱・漢方研）

＜食品衛生・院内感染防止＞

P95-31A　ウメ果実の一次加工工程における塩素殺菌を利用した微生物制御
○村上ゆかり，泉　秀実（近畿大・生物理工）

P96-31P　殺菌処理後にactive MAP貯蔵したカット野菜の微生物叢
○リーラヴォラヴォンヴァラコン，三木秀基，泉　秀実（近畿大・生物理工）

P97-30P　ソルビン酸カリウム添加みそから分離された菌に対するナイシンの増殖抑制作用
○岡崎貴世[1]，佐賀由美子[2]，高麗寛紀[3]
（[1]四国大・生活科学，[2]四国大院・人間生活科学，[3]徳島大）

P98-31A　御膳みそ製造過程における微生物制御ポイントの検討
○佐賀由美子[1]，岡崎貴世[2]（[1]四国大院・人間生活科学，[2]四国大・生活科学）

P99-31P　新規微細化フマル酸製剤DF30の抗菌効果
○齋田佳菜子[1]，奥薗一彦[2]，石橋崇正[3]，松田茂樹[4]
（[1]熊本県産技センター，[2]第一製網㈱，[3]西日本長瀬㈱，[4]熊本県みそ醤油組合）

P100-30P　ミクロカロリメトリー法による食品腐敗の非破壊計測
○島﨑　博[1]，高橋克忠[2]，黒瀬直孝[1]
（[1]生活品質科学研・関西研，[2]けいはんな文化学術協会・微生物計測システム研）

P101-31A　高圧蒸気滅菌可能な卵黄液代替サプリメントの開発
○佐藤優成[1]，佐々木隆英[1]，八木洋美[2]，水口　悟[1]，小髙得央[3]
（[1]㈱アテクト・技開D，[2]㈱アテクト・品質D，[3]㈱アテクト）

P102-31P　カンピロバクター食中毒におけるリスクランキング設定への疫学的アプローチ
○池田　恵[1]，高橋正弘[1]，中村丁次[1]，日佐和夫[2]，豊福　肇[3]
（[1]保健福祉大・保健福祉，[2]東京海洋大院，[3]保健医療科学院・国際協力）

P103-30P　家庭で使用中の台所スポンジにおける細菌分布状況

○横山佳子[1]，門前なつ希[2]，小菅智絵[1]，松村　奏[1]
（[1]京都女子大・家政，[2]京都府大院・生命環境）

P104-31A　*Aspergillus niger*の耐糖性および耐アルコール性（Ⅱ）

○福島由美子[1]，土坂なる美[1]，市川幸充[1]，大河内正一[2]
（[1]㈱ファインテック，[2]法政大・生命科学）

P105-31P　DLC被覆PETボトルへの代理汚染物質の残留性と再移行性

○竹原淳彦[1]，常定　健[1]，福﨑智司[1]，小沢一郎[2]，山森澄恵[2]，小柳信夫[2]
（[1]岡山工技セ，[2]㈱エコサポート）

P106-30P　ベトナムのハノイでの腸炎ビブリオ感染症と病原性菌株による魚介類汚染

○中口義次[1]，Nguyen Binh Minh[2]，Cuong Ngo Tuan[2]，Tran Hoang Huy[2]，
Nguyen Hoai Thu[2]，Le Thanh Huong[2]，勢戸和子[3]，西渕光昭[1]
（[1]京都大・東南アジア研，[2]National Institute of Hygiene and
Epidemiology, Hanoi, Vietnam，[3]大阪公衆衛生研）

P107-31A　ウイルス不活化効果を有する新規環境用殺菌消毒剤の海外公的試験法に基づく有効性評価

○隈下祐一，原田　裕，中村絵美，平田善彦，古田太郎（サラヤ㈱・BCL）

P108-31P　老人ホームにおける介護職員への手洗い方法の指導

○山本恭子（園田学園女子大・人間健康）

P109-30P　介護器具等の消毒を目的とした高温消毒装置の開発

○前田拓也[1]，藤原昌美[1]，佐藤江利子[1]，西原　力[1]，羽田憲司[2]（[1]兵庫医療大・薬，[2]白鴎）

＜環境微生物・環境微生物制御＞

P110-31A　細菌の付着に対する食品添加物の併用効果

○町田智佳子[1]，金　笑娟[1]，大石彬靖[1]，本城賢一[2]，宮本敬久[2]
（[1]九州大院・生資環，[2]九州大院・農）

P111-31P　*Aspergillus fumigatus*のアレルゲン遺伝子塩基配列の多様性

○小沼ルミ[1]，渡辺麻衣子[2]，小西良子[2]，高鳥浩介[3]，瓦田研介[1]，鎌田洋一[2]
（[1]東京産技研・開発，[2]国立衛研，[3]NPO法人カビ相談センター）

P112-30P　家庭用洗剤に含まれる界面活性剤の環境微生物への影響

○三好伸一，前原陽子，中尾浩史（岡山大院・医歯薬学）

P113-31A　セレウス菌野生株における芽胞形成能の多様性解析

○原　佑太，石田千尋，長田ちはる，西村真由美，今村大輔，桑名利津子，高松宏治，
渡部一仁（摂南大・薬）

P114-31P　低濃度食品添加物および殺菌剤が大腸菌のVNCおよび培養可能性に及ぼす影響
○大金春奈[1]，菊地幹夫[2]，澤井　淳[2]（[1]神奈工大院・工，[2]神奈工大・応用バイオ）

P115-30P　新種 *Legionella thermalis*
○古畑勝則[1]，枝川亜希子[2,3]，宮本比呂志[3]，福山正文[1]
（[1]麻布大・生命環境科学，[2]大阪公衛研・生活環境，[3]佐賀大・医）

P116-31A　ハロゲンの安定化と持続効果を持つ薬剤の検証について
David Biro[1]，Michael Ludensky[1]，Kevin Janak[1]，○吉村信子[2]
（[1]Lonza Inc. USA，[2]ロンザジャパン㈱ テクニカルセンター）

P117-31P　人工透析用透析液作製系の開放系の管理4　環境由来の水棲菌2
○大薗英一[1,2]，冨岡敏一[3]，本田和美[1]，熊谷拓也[1]，根岸秀樹[1]，井上有紀[1]，市村恭子[1]，
高橋めぐみ[2]（[1]越谷大袋クリニック，[2]日医大・微生物免疫，[3]関西大・化学生命工）

P118-30P　医療用透析液の微生物汚染に関する菌叢調査
冨岡敏一[1]，○染川侑香[1]，大薗英一[2]，坂元　仁[1]，土戸哲明[1]
（[1]関西大・化学生命工，[2]越谷大袋クリニック）

P119-31A　清涼飲料水中の生物学的汚染評価
高橋淳子[1]，大上朝子[2]，大嶋敏樹[2]，柿沼結花[1]，境野貴子[1]，新島あゆ美[1]，○本田晶美[1]，
三井理恵子[1]
（[1]桐生大・短大，[2]新潟県環境衛生研・分析，[3]東京農大・農，[4]カビ相談セ）

P120-31P　レジオネラ属菌対策における消毒副生成物に関する暴露評価
○高橋淳子[1]，竹熊美貴子[2]，香川（田中）聡子[3]，古川容子[3]，泉山信司[4]，倉　文明[5]，
神野透人[3]（[1]桐生大・短大，[2]埼玉県衛生研・生体影響，[3]国立衛生研・生活衛生化学，
[4]国立感染研・寄生動物，[5]国立感染研・細菌第一）

P121-30P　温泉利用循環ろ過式浴槽水におけるモノクロラミン消毒の有効性
○田栗利紹[1]，杉山寛治[2]，小坂浩司[3]，泉山信司[4]，倉　文明[5]（[1]長崎県環保研セ・保健，
[2]静岡県環衛科研・微生物，[3]国立保健医療科学院・生活環境研究，
[4]国立感染研・寄生動物，[5]国立感染研・細菌第一）

P122-31A　金属複合化アナタース型S-TiO_2における糸状菌制御
○森田　洋[1]，伊勢田弘太郎[2]，田部井陽介[1]，惠良真理子[1]
（[1]北九州大・国際環境工，[2]北九州大院・国際環境工）

P123-31P　天井を中心とした浴室汚染カビの状態解析
○山岸　弘[1]，村田里美[1]，藤村昌平[1]，長谷川貴通[1]，田中孝祐[1]，李　憲俊[2]
（[1]ライオン㈱・リビングケア研，[2]衛生微生物研究センター）

P124-30P　タオル使用時に発生する臭気と微生物との関連性解析

○森田靖之，大谷正彦，杉山淳一，平田江里加，藤原久美子，兵藤　亮，石丸英彦，
藤原正美（ライオン㈱）

P125-31A　可視光照射下における金属複合化ルチル型Fe-TiO_2の抗菌効果

○鷲巣　孝[1]，伊勢田弘太郎[1]，森田　洋[2]（[1]北九州大院・国際環境工，[2]北九州大・国際環境工）

P126-31P　*Acanthamoeba*のシスト化に影響を与える要因

○山中祐樹[1]，森田　洋[2]（[1]北九州大院・国際環境工，[2]北九大・国際環境工）

P127-30P　ブタ皮膚上でのアルコール擦式消毒剤のノンエンベロープウイルスに対する薬効

○松瀬　仁[1]，奥西淳二[1]，辻谷久美子[1]，八木俊和[2]，瀬戸政彦[1]，池田雅裕[1]
（[1]丸石製薬㈱・中央研，[2]丸石製薬㈱・営業企画）

P128-31A　ヨーロッパ標準法に準じた環境用消毒剤の有効性評価

○中村絵美，原田　裕，高見貴之，谷口　暢，古田太郎（サラヤ㈱・BCL）

P129-31P　EMA-LAMP法を用いた生菌レジオネラ検出方法の検討

○枝川亜希子[1,2]，木村明生[3]，古畑勝則[4]，田中榮次[1]，足立伸一[1]，宮本比呂志[2]
（[1]大阪府公衛研・衛生化学，[2]佐賀大・医，[3]大阪府公衛研・企画総務，[4]麻布大・生命環境科学）

P130-30P　ディスポーザブルケージ型個別飼育システムを用いた実験動物飼育施設における清浄度の検証

○斉藤美佳子[1]，佐久間健治[1,2]，乙訓桂子[1,3]，舟橋久景[1]，松岡英明[1]
（[1]東京農工大・生命工学，[2]オリエンタル技研工業㈱，[3]㈱ケー・エー・シー）

P131-31A　ヨウ素を包接したアミロース／セルロース複合繊維の抗菌・抗ウィルス機能

○東口文治[1]，三瓶春代[1]，寺田喜信[1]，高久三枝子[2]，徳田　宏[2]，田口　充[3]，山口秀幸[3]，海宝龍夫[3]
（[1]江崎グリコ㈱・健康研，[2]オーミケンシ㈱・研究，[3]関東天然瓦斯開発㈱・かん水研）

P132-31P　口唇部化粧品の使用方法の違いによる二次汚染リスクの比較

○本村　綾，清水　暁（アンズコーポレーション・研究開発）

＜微生物利用＞

P133-30P　*Sphingomonas bisphenolicum* AO1株の芳香族環境汚染物質の分解と内在性プラスミドの解析

○上村真央[1]，前川睦乃[1]，吉村悠図[1]，奥野将司[1]，小田佳孝[1]，松村吉信[1,2]
（[1]関西大・化学生命工，[2]関西大・ORDIST）

P134-31A　糸状菌を用いた混合培養によるグルコアミラーゼ生産

○許斐　隼，佐藤由可衣，佐藤貴裕，森田　洋（北九州大・国際環境工）

P135-31P　*Vibrio vulnificus*由来抗菌物質の抗菌スペクトル

○横地奈菜[1]，渡辺真理[1]，黒田沙織[2]，田中重光[1]，松本浩一[3]，神田康三[1]，小林元太[1]
([1]佐賀大・農，[2]佐賀大・有明プロ，[3]佐賀大・医)

P136-30P　高い重金属吸着能を有する環境由来菌の単離方法の検討

○伊東達郎，森　美穂，坂上吉一（近畿大・農）

P137-31A　海洋性フタル酸資化性菌の分離と解析

○西村彩香[1]，岩木宏明[1,2]，長谷川喜衛[1,2]（[1]関西大・化学生命工，[2]関西大・先端機構）

P138-31P　海洋性細菌によるトルエンの分解

○城谷達也[1]，岩木宏明[1,2]，長谷川喜衛[1,2]（[1]関西大・化学生命工，[2]関西大・先端機構）

P139-30P　海洋性細菌によるフェノールの分解

○高田健吾[1]，岩木宏明[1,2]，長谷川喜衛[1,2]（[1]関西大・化学生命工，[2]関西大・先端機構）

P140-31A　河川環境に生息するカワニナによる多糖類分解に関する研究

○越智淳子，森　美穂，坂上吉一（近畿大・農）

P141-31P　無機塩類における*Photorhabdus luminescens*の発光制御

○小川あかね[1]，恵良真理子[2]，田部井陽介[2]，森田　洋[2]
（[1]北九州大院・国際環境工，[2]北九州大・国際環境工）

P142-30P　海洋性発光細菌によるフィブロイン膜への固定と発光性

○恵良真理子[1]，田部井陽介[1]，小川あかね[2]，森田　洋[1]
（[1]北九州大・国際環境工，[2]北九州大院・国際環境工）

P143-31A　発光細菌*Vibrio fischeri*における細胞密度非依存型発光性とその応用

○田部井陽介[1]，恵良真理子[1]，小川あかね[2]，森田　洋[1]
（[1]北九州大・国際環境工，[2]北九州大院・国際環境工）

＜微生物劣化＞

P144-31P　コンクリート表面に生えるカビについて

○井原健史，齊藤　智（㈱竹中工務店・技研）

P145-30P　軟腐朽菌*Graphium* sp.ラッカーゼ生産における培養条件の検討

○杉本晴美[1]，隼田陽介[1]，北山浩章[2]，板倉修司[1]，榎　章郎[1]，田中裕美[1]
（[1]近畿大院・農，[2]近畿大・農）

P146-31A　エジプト遺跡から採取したカビの同定と古代壁画モデルとしての彩色石片上でのカビの発育挙動

○涌田恭兵[1]，廣池晋治[1]，岡本光由[2]，久米田裕子[3]，高鳥浩介[4]，土戸哲明[1]
（[1]関西大・化学生命工，[2]関西大院・理工，[3]大阪府公衆衛生研，[4]NPO法人カビ相談センター）

12. 発表者、座長等一覧

あ

青木裕二	P73-30P
青山好男	Op-10
縣　邦雄	P11-31A
	P72-31P
秋葉　勇	P54-31P
浅尾　努	Op-7
浅野幸康	Oa-12
東　知宏	Oa-10
東　竜太	P81-31P
阿瀬智暢	P89-31A
足立伸一	P129-31P
阿部真也	P51-31P
阿部仁一郎	Oa-2
荒井桂子	P75-31P
有田美知子	P7-30P
有田佳子	P19-30P

い

飯塚絹江	P2-31A
	P3-31P
飯塚千織理	P83-31A
井桁千恵子	P119-31A
池田雅裕	P127-30P
池田　恵	P102-31P
池原弘展	Oa-10
池谷　崇	Op-9
伊澤康一	Oa-4
石井営次	P37-30P
	P38-31A
石川悦子	Op-8
石田拓也	P12-31P
石田千尋	P26-31A
	P27-31P
	P28-30P
	P113-31A
石鳥谷景子	P45-31P
石野靖浩	P30-31P
石橋崇正	P99-31P
石間智生	P72-31P
石松維世	Oa-1
石丸英彦	P124-30P
石丸　恵	P32-31A
泉　秀実	P32-31A
	P95-31A
	P96-31P
泉山信司	P11-31A
	P120-31P
	P121-30P
伊勢田弘太郎	P30-31P
	P122-31A
	P125-31A
磯部順子	Oa-3
板倉修司	P145-30P
市川幸充	P104-31A
一関さやか	P4-30P
市村恭子	P117-31P
伊東達郎	P136-30P
伊藤聖孝	Op-4
伊藤隆弥	P24-31P
稲波久雄	P65-31A
井上浩章	P72-31P
井上有紀	P117-31P
井原健史	P144-31P
今井健之	Oa-12
今井正敏	P80-31A
	P81-31P
今西雄一郎	P25-30P
今村大輔	P24-31P
	P26-31A
	P27-31P
	P28-30P
	P76-30P
	P77-31A
	P113-31A
伊能小百合	P43-30P
	P44-31A
入江香成美	P82-30P
岩井美和	P88-30P
岩岡浩史	Oa-7
岩木宏明	P137-31A
	P138-31P
	P139-30P
岩崎達行	Op-1
岩沢篤郎	P15-31P
	P16-30P
岩瀬美紀	Oa-8
岩坪　聡	P47-31A
岩蕗　仁	P12-31P
岩村卓嗣	Op-3

う

上坂良彦	Op-13
上田　修	L-5
上田成子	Oa-8
上田啓正	P24-31P
上野　宏	Oa-8
上村真央	P133-30P
内田和之	P68-31A
内田将文	P66-31P
	P67-30P
内林瑠美	P60-31P
宇野雅晴	Op-5
浦野博水	P57-31P

え

枝川亜希子	P115-30P
	P129-31P
榎　章郎	P145-30P
恵良真理子	P30-31P
	P122-31A
	P141-31P
	P142-30P
	P143-31A
遠藤卓郎	P11-31A
遠藤聡志	P39-31P

お

大石彬靖	P110-31A
大金春奈	P114-31P
大上朝子	P119-31A
大窪敏樹	P60-31P
	P62-31A
	P94-30P
大河内正一	Op-9
	P104-31A
大澤元毅	Oa-1

13. Keyword一覧

F

G

H

T

U

V

W

X

Z

Figure（数字）